



「梅雨の晴れ間」

梅寿荘施設長 辻村泰範

梅雨の晴れ間、と聞くと何を連想します。溜まっていた洗濯物をこのときぞとばかり物干し竿にいそいそと吊るすお母さん。姉さんかぶりで白いかつぽうぎが眩しく輝いている。なんてイメージは大昔のこと。五十年は遡らないとなりません。でも梅寿荘でお暮らしの方々は、ひょっとすると私もそうだったわ、とおっしゃる方が結構多いかも。

あの頃は盥（タライ）と洗濯板だったわねえ、と話が益々遡っていくかもしれません。若い娘たちは洗濯板なんて見たこともないと言うにちがいありません。勿論使つたこともないでしょうね。洗濯石鹼という独特的の固形石鹼も今や殆ど目にすることができません。

ふと気がついたのです。あの固形石鹼も洗濯板も、もう作つていらないのかな。洗濯板は単純そうだけど結構凝つた作りになっていたから、職人さんもいなくなつたんだろうな。使う人がいなくなつて、作る人がいなくなつて、作つたものがなくなつて、使つたことのある人がいなくなつて、話を伝える人もいなくなつて、いつの間にかあつたことさえ忘れてしまう。

エアコンが効いた室内にいると、冬の寒さも夏の暑さもおかまいなしです。ジメジメした梅雨の湿気もあまり気にすることがないかもしれません。梅雨が開けると、入道雲と照りつけるお日さんでジリジリと焼け付くような暑さがやってきます。井戸端の盥に冷やしたスイカが何とも冷たくて甘い。スイカを井戸に吊るして冷やしていたこともあったなあ。あんなことこんなこと、昔の思い出、今のうちにいっぱい話して下さい。

滝寺花祭り～2016・4・24～

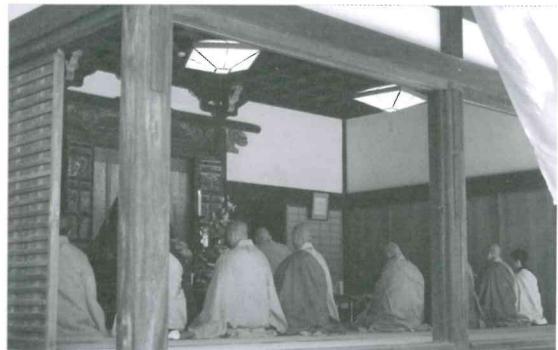
カトレア 辻村 万希

滝寺の境内で、お釈迦様の誕生をお祝するお花祭り（灌仏会）が行なわれました。本堂と誕生仏を祀る花見堂の前で法事が行われた後、お稚児行列が行なわれ、花見堂の前で、誕生仏に甘茶を掛けて仏様のお誕生をお祝しました。お稚児行列は、少し離れた梅寿荘にも足を運んで下さり、会場に来られない入居者の方にもお花祭りの雰囲気を味わっていただけたのではないかでしょうか。又、お花祭りでは、施設職員が日頃の感謝の気持ちを込めて、当法人内の児童部門と高齢者部門の職員の皆さんのが手作りの模擬店を出店したり、ドリーム・シアターでは、子ども向けにオリジナルの劇を公演したりしました。また、今年は、法人創立70周年を迎え、全ての職員が施設毎にカラーを分けた記念Tシャツを着用。ピンクや黄色、緑など・・・色鮮やかなTシャツで会場に華を添えました。

私達の施設では、濃い緑の記念Tシャツを着用し、模擬店でから揚げを販売しました。小麦粉アレルギーの方にも対応し小麦粉不使用のから揚げも用意していましたが、幸い、アレルギーの方はおらず、無事に完売することができました。また、恒例のポスター発表は、法人創立70周年にふさわしく、各施設が自分達の施設の歴史について調べ、歴史紹介を行いました。



滝寺の本堂



本堂での法要の様子



桃李館前に設けられた花御堂

花祭りドリームシアター

すいせん 田中 秀幸

午後の部では、当法人の敷地内にある“あすなろ館”において「ドリームシアター」が催されました。この催しは、滝寺お花祭りの恒例の出し物の一つで、今年は、法人創立70周年を祝うイベントとして行なわれました。法人各部門の職員が一丸となって、一人の旅の僧が素敵な仲間達と出会い、世のため人のために生きた70年の生涯を芝居の形で企画し、上演したもので、劇中には子供たちに人気のキャラクターが多数登場しました。今年初登場のキャラクター“70周年マン”の活躍に、会場は大勢のお客様の歓声に包まれました。



ドリーム・シアターでの一幕。

特別養護老人ホーム 梅寿荘

開設：昭和47年4月3日 特別養護老人ホーム
：平成15年4月1日 特別養護老人ホーム
新規搬入：平成15年4月24日 特別養護老人ホーム

昭和47年（1972）8月

○特別養護老人ホーム「梅寿荘」完成

最初は定期70名でスタート
居室は10室で、各室は2名、3名、4名のベッドを有する。施設内は、高齢者にとっての安全を第一に考慮して、階段は、車椅子でも安全に昇り下りできるよう、幅広の階段や、手すりを設けた。また、廊下は、歩行困難な高齢者でも安全に移動できるよう、幅広の廊下を設けた。また、廊下は、歩行困難な高齢者でも安全に移動できるよう、幅広の廊下を設けた。

昭和48年（1973）4月～7月

○「梅寿荘」増築工事

最初は定期70名でスタート
居室は10室で、各室は2名、3名、4名のベッドを有する。施設内は、高齢者にとっての安全を第一に考慮して、階段は、車椅子でも安全に昇り下りできるよう、幅広の階段や、手すりを設けた。また、廊下は、歩行困難な高齢者でも安全に移動できるよう、幅広の廊下を設けた。

昭和50年（1975）6月

○施設活動が盛んになります

最初は定期70名でスタート
居室は10室で、各室は2名、3名、4名のベッドを有する。施設内は、高齢者にとっての安全を第一に考慮して、階段は、車椅子でも安全に昇り下りできるよう、幅広の階段や、手すりを設けた。また、廊下は、歩行困難な高齢者でも安全に移動できるよう、幅広の廊下を設けた。

昭和50年（1975）9月

○施設の屋上に「ミニ・ゴルフ場」が誕生

昭和53年（1978）

○法人常務理事、社村重義進道（行年59歳）

社村重義がこれを持ち去られる

昭和54年7月（1979）

○梅園町「ことみさ」発刊

昭和61年（1986）

○梅南町にて梅園コーナーを開設

昭和62年（1987）

○スリランカから贈呈物種に、スリランカの

白斑さん・R・オバーリー君（19歳）来日

昭和63年（1988）8月

○梅寿荘デイサービスを施設開設

平成4年（1992）8月

○創設20周年。記念行事にてご入居者との白浜温泉

一泊旅行を実施。

平成15年（2003）

○梅寿荘完成・修繕

施設の改修工事が完了

<p

『バリアフリー展2016』に参加して

カトレア 辻村 万希

先日、南港のインテックス大阪で行なわれたバリアフリー展に行かせていただきました。バリアフリー展では、様々なメーカーから福祉用具や介護ロボット、福祉車両の展示などが行なわれており、実際に体験をさせていただくこともできます。このバリアフリー展は毎年行なわれているそうです。このバリアフリー展は福祉やリハビリ医療の関係者だけでなく、一般の方も多く訪れていました。会場内では、いくつかのワークショップや基調講演なども開催されていました。その中から、私は、JASPA 床ずれ防止用具部会が主催する『床ずれ防止用具の正しい選択と使用方法』のワークショップに参加させていただきました。

JASPA とは、福祉用具の製造・流通事業者を中心に、約100社が加盟する国内最大規模の福祉用具業界団体です。この JASPA は機能別部会と品目別部会の大きく2つに分かれ、品目別部会は更に11の部会に分け、その中に床ずれ防止用具部会があります。

ワークショップでは、主に介護用ベッドに使用されている寝具のマットレスの種類や素材の特性や欠点、車椅子用のクッション（床ずれ防止用具）などの使用やメンテナンスについてのお話がありました。

接触面積を大きくすることで、圧力分散をさせ、一箇所に圧を集中させないことが、床ずれを防ぐためには、重要になります。

また、接触面積が少ないと、筋肉が強張り、拘縮の原因にもなってしまいます。

ワークショップでは、私達が普段職場で使用することがある床ずれ防止用具でも、見た目だけで判断し、実際は、優れたものでも、誤解をしているものがありました。その中のひとつが、シープスキンと呼ばれる羊の毛が原料の物です。いわゆるムートン素材ですので、一見すると、暑苦しそうで、通気性が悪そうにみえますが、実は羊は、雨の中でも、毛が雨水を吸って重くならないように、水を弾く性質があるそうで、撥水性が高く、通気性が大変優れているとの事です。また、既にでき床ずれが出来てしまってからでは、治療に時間がかかり、患者の身体に大きな負担になってしまいかねません。

普段から、予防に取り組む努力をコツコツと積み重ねていくことが、質の高い生活を維持していくことが大切だと感じました。来年は、皆さんも、バリアフリー展に足を運んでみて下さい。



施設内研修 「感染症対策と救急対応について」

医務室

今倉 澄子

抵抗力が低下した高齢者にとって感染症を予防していく事は重要です。

利用者を感染リスクから守る為、繰り返し研修を重ねて知識と技術を点検しています。

救急対応では、「心肺停止の利用者を発見した場合、救急隊の到着までに何をすべきか」という実践的なケースを想定して研修を行いました。



新職員紹介

4月から新たに私達と一緒に御利用者の生活をサポートしてくださる職員の方々です。仕事にも少し慣れてきたところでしょうか？先日の5月には新人歓迎会も行われました。

特養 あじさい・ひまわりユニット

介護士 中田 博史

平成28年4月に入社しました中田 博史と申します。

介護職として、高齢者介護や障がい者・児介護をしてきました。

難しい利用者様のケアを担当したこともありますが、精神誠意対応することで相手の心を開く事ができることを知り、より介護の仕事が好きになりました。

今までの経験と介護福祉士の資格取得で得た知識を活かし、よりよいケアを実現していきたいと思います。

また、いろんな経験でサポートを受ける御高齢者、御家族の視点とサポートをする介護士の視点の両方の視点を知ることができました。この経験を活かしたいと思っています。

入社してまだ1ヶ月少しでも右も左も分りませんが、皆様ご指導宜しくお願ひ致します。

.....

特養 パンジー・コスモスユニット

介護士 鈴木 啓嗣

私の十二支は未、血液型はO型、一見取っ付き難そうですが結構ユーモアがあり、本当はこよなく日本の歴史を愛する面白い人間です。考え方が真面目過ぎるのが長所であり、短所でもありますが、宜しくお願ひします。

.....

特養 カトレアユニット

サブリーダー 介護士 北嶋 健吾

あくなみ苑から4月より異動してきました。

向こうでは5年間勤めていましたが、こちらでは新人ですので色々と分からない事やご迷惑をお掛けすると思いますが、ご指導のほどよろしくお願ひ致します。



事務所

事務員 国分 崇司

4月より梅寿荘の事務員として勤務することになりました、国分 崇司です。
明るく仲の良いスタッフに囲まれながら、多くのことを学ばさせて頂いています。
1日でも疾く皆様の力になれますよう頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

養護

支援員 福西 啓真 ひろまさ

皆様、初めまして3月から入社しました、福西 啓真と言います。福祉の業界は初めてで、わからない事だらけですがこれから頑張っていきたいと思っています。今の目標は、早く、一人前になることです。御利用者を理解し、信頼してもらえる様にもなりたいです。少しでも、早く仕事を覚えて役に立ちたいと思っていますので、どうかよろしくお願ひ致します。

休みの日には、映画館に行ったり、ビリヤードをしたりしています。最近は、『64』や『海難』を観てきました。面白い映画でしたので、皆様も良かつたら観てください。

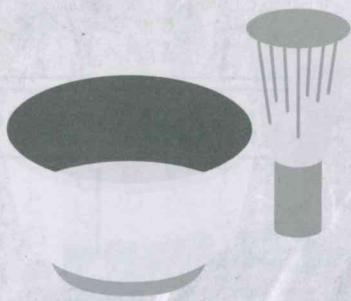


お茶会について

行事委員 鈴木啓嗣

新人記者の鈴木です。6月4日にお茶会が開催されました。ご利用者が随時1階の地域交流ホールに集まり、河井さんの司会で午後2時から始まりました。まずはお菓子(滷し餡)を食べて頂き、この時ご利用者のお顔がほっこりゆるむのが見てとれました。和服姿の女性がお茶を点てて、各々にご利用者の元へ、職員がご利用者にゆっくりと口元へ。このひとときを大切にお茶の香りを楽しみ味わっていらっしゃるように思え、側の職員の顔にも笑みが浮かんでいました。お茶会の終盤、辻村理事長からご挨拶があり、閉会となりました。芳野先生とお話しする機会があり、お茶花(きょうがのこ、ほたるぶくろ、なるこわり、びようやなぎ、しもつけ)があることを教えて頂き、改めて日本文化の奥深い一面を知りました。

ご利用者と共に心が落ち着き、安らぎを感じる良い時間を共有出来たことに感謝しました。



おでかけ日記

パンジー 今中 大介



北円堂春の特別公開が行われていた興福寺に出掛けました。

本尊は弥勒如来で弥勒菩薩の未来のお姿です。仏師運慶らを中心とする慶派の作としても知られています。毎年秋にも公開が行われます。

一言観音菩薩はひとことで願いを聞いて下さる仏様としても有名です。

南円堂の本尊は不空羂索觀音菩薩で、毎年10月17日に公開されます。13:00より法要も開かれています。

梅寿荘「夏祭り」

今年も恒例となりました「夏祭り」の季節がやっと参りました。暑さを忘れるほどに、ご利用者と共に楽しめるお祭りを企画しております。屋台も出店しておりますので、夏のひと時をお楽しみください！！

8月12日(金) 17:30～19:30 梅寿荘にて

出店屋台

食事屋台:焼きそば、たこ焼き、フランクフルト、カレーライスなど

遊び屋台:ボール入れ、ヨーヨー釣りなど

皆様のご来場をお待ちしております。

夏祭り実行委員会



壽

ことぶき第79号 2016年7月1日号

編集後記



梅雨明け間近、これから、暑さも本番。気象庁発表の3ヶ月予報では、今年の夏は、猛暑になるそうです。今年も脱水・熱中症が心配ですね。皆さん、しっかりと塩分を含んだ水分を取り、「栄養・睡眠・適度な運動」でしっかりと体調管理を行なって、この猛暑に打ち勝ちましょう。さて、今年は4月より沢山の新人が入職しました。

この広報委員会のメンバーも入れ替わり、新たな顔ぶれとなりました。新たなメンバーと心機一転、2度目の広報委員長を今年度より務めさせていただくことになりました。辻村 万希です。2年前の編集長での反省点を活かし、また、新たなメンバーと一緒にこの『寿』とホームページの『Facebook』を更新していくので、どうぞ宜しくお願い致します。

広報委員会 小林(直)・田中・荒瀬・今中・辻村